

七夕の歌一首 并せて短歌

一七六四番

ひさかたの 天の川原に 上つ瀬に 玉橋渡し
下つ瀬に 舟浮けすゑ 雨降りて 風吹かずとも
風吹きて 雨降らずとも 裳濡らさず 止まず来
ませと 玉橋渡す

反歌

一七六五番

天の川 霧立ち渡る 今日今日と 我が待つ君し
舟出すらしも